



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

Rotary 2021-22年度 国際ロータリーのテーマ



岩国西ロータリークラブ  
HPのQRコード



撮影 細田正躬



## 岩国西ロータリークラブ週報

WEEKLY REPORT, ROTARY CLUB OF IWAKUNI WEST

2021年12月24日(金)第2496回例会

《 疾病予防と治療月間 》

ロータリーソング「友達になろう」  
「四つのテスト」唱和

ゲスト卓話  
蔵本りさ様 ジャズシンガー  
『 On The Sunny Side Of The Street ～ジャズに恋して～ 』

次週12月31日(金)※休会(定款適用)  
次次週1月7日(金)新年初例会  
会長新年挨拶・年男抱負

## 国際ロータリー第2710地区 岩国西ロータリークラブ

事務局 〒741-0062 岩国市岩国一丁目1-7 岩国国際観光ホテル内  
TEL (0827) 43-1323 FAX (0827) 41-1335  
E-mail ro@iwrc.jp  
HP <http://iwakuni-west.com>

例会場 毎週金曜日 12:30~13:30  
岩国国際観光ホテル TEL (0827) 43-1111  
会長／兼田 康史 副会長／大田 謙二 幹事／茶藤 淳一  
編集者 雑誌会報委員長／柳崎 茂

### 四つのテスト

(言行はこれに照らしてから)

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなためになるかどうか

## 会長報告

### お祝い

プライバシー保護のため掲載しておりません



### 幹事報告

- 1) 次週12/31(金)は休会(定款適用)となっております。次回の開催は1/7(金)となりますのでご注意ください。  
12/29(水)～1/4(火)事務局休み ※緊急連絡先(TEL 090-7773-4399 茶藤幹事)
- 2) 1/7(金)例会終了後に定例理事会を開催しますので、理事・役員の方はご出席よろしくお願ひします。
- 3) 「2022年度 岩国青年会議所 新年互礼会」のご案内  
【日時】令和4年1月14日(金) 19:00～  
【場所】岩国国際観光ホテル
- 4) (一財)比国育英会バギオ基金より、2020年度事業報告書と基金へのご寄付のお願いが届いております。閲覧を希望される方は事務局までお申し出ください。  
安定的に奨学金が授与できるよう、また、より多くの学生に日本への留学を支援し、広い範囲で日比両国の親善友好に寄与できるよう、皆様のご協力をよろしくお願い致します。
- 5) 1月度クラブスケジュール  
【岩 国 西】 7日(金) 会長新年挨拶・年男抱負  
14日(金) ゲスト卓話 金本智代様 絵手紙講師  
21日(金) ゲスト卓話 栗山秀樹様 大同生命保険(株)山口支社長  
28日(金)※例会変更 第2500回例会記念夫婦同伴例会 18:30～  
  
【岩 国】 6日(木)※例会変更 休会(定款適用)  
13日(木)※例会変更 新年互礼会  
20日(木) 仁江イジョン・スピーチ 寺本光司様 ENEOS(株)麻里布製油所 所長  
27日(木) 仁江イジョン・スピーチ 川島裕様 中国電力ネットワーク(株) 所長  
  
【岩国中央】 5日(水) 会長幹事挨拶 ご長寿・年男抱負  
12日(水) 新入会員卓話  
19日(水) 職場訪問例会 於：帝人  
26日(水)※例会変更 クラブ創立記念夜間例会  
  
【大 竹】 4日(火)※例会変更 休会(定款適用)  
11日(火) 新年互例会  
18日(火) ゲスト卓話 河野大輔様 (一社)大竹青年会議所理事長  
25日(火)※例会変更 休会(定款適用)

## 委員会報告

### 1) プログラム

#### 蔵本<sup>くらもと</sup> りさ様 プロフィール

山口県岩国市出身。

幼少時代は祖母に育てられた影響から演歌や歌謡曲を歌いだし、小学5年生の時にはカラオケの全国大会で準優勝を獲得。高校時代にはR&B、レゲエ、ポップスなどでバンド活動をし、詩を理解したいがために英語学習に励み始める。

岩国高校卒業後渡米。カリフォルニア州立ディアブロバレーカレッジにおいて基礎音楽理論、発声法などを学んだ後、ニューヨーク市立大学シティカレッジ校に編入。ジャズボーカル科を専攻。それと同時に、かねてより興味があった心理学科を副専攻。ジャズボイスをSheila Jordan, Jay Claytonらに師事する傍ら、クラシック唱法をJanet Steel, ジャズピアノを福森道華のもとで学ぶ。

在学中、同校主催のアジアフェスティバルで日本の歌をアレンジして披露、ソーラン節やりんご追分などが「ソウルフルだ」と大絶賛を受ける。また、ラテンジャズ界の巨匠、Ray Santos 率いるビッグバンドと共演を重ねる。卒業後もニューヨーク市内のレストランなどでジャズを歌い好評を博す。

2005年11月に帰国。地元山口や広島を中心に活動を開始し、都内においても出演機会を重ねる。現在、中国新聞文化講座講師として「楽しく始めるジャズボーカル」教室を岩国、大竹、五日市にて受け持つ。

2013年8月、ファーストアルバム「A Child Is Born」、2019年5月、セカンドアルバム「Dew Of Life」をリリース。二児の母として、子育てママが子連れで参加できるライブイベントなどを企画、開催。好評を博す。また、英会話教室や講師を招いての英語発音講座なども精力的に行っている。

2015年4月、第1回岩国ジャズストリートを仲間共に立ち上げる。生まれ育った町でのジャズ文化の普及、音楽による青少年育成、地域コミュニティの交流活性化を図るため日々邁進している。

### 2) 出席

12月度出席状況

ビジター 2名 累計8,268名

|       | 会員数       | 出席人数 | 当日出席率  | メイクアップ | 修正出席率  |
|-------|-----------|------|--------|--------|--------|
| 12/3  | 62名(免除2名) | 54名  | 90.00% | 0名     | 90.00% |
| 12/10 | 62名(免除2名) | 51名  | 85.00% | —      | —      |
| 12/17 | 62名(免除4名) | 54名  | 93.10% | —      | —      |

### 先週のスマイルニュース



#### 友愛会結果

12月19日(日) 於：岩国センチュリーゴルフクラブ

優勝 藤本俊文

準優勝 細田正躬

3位 谷川誠治

# ものづくり日本の再生

岩国西RC 釘屋文雄さん 竹島秀治さん  
例会で卓話

■日本しか出来ない光ディスクの開発

岩国西ロータリークラブ  
(兼田康史会長) は17日、岩

国国際観光ホテルで例会を開き、ゲスト卓話の講師にサンワ企画会長・釘屋文雄さん、バーベイタムジャパン代表取締役の竹島秀治さんを迎え、「もの作り日本の再生に向けて」の演題で話を聞いた。

釘屋さんは1974年に日立製作所中央研究所に入社、高密度磁気記録研究に当たってきた。93年には大阪大博士号を取得している。2003年に日立がIBMのHDD部門を買収すると、サーバ部門の責任者として米国に赴任した。13年に米国企業のWDCが同部門を買収した後、新事業の責任者としてWDCに転

属した。16年に退社して、ふるさとの岩国に戻り、文化センターなどを管理・運営するサンワ企画の会長を務めている。

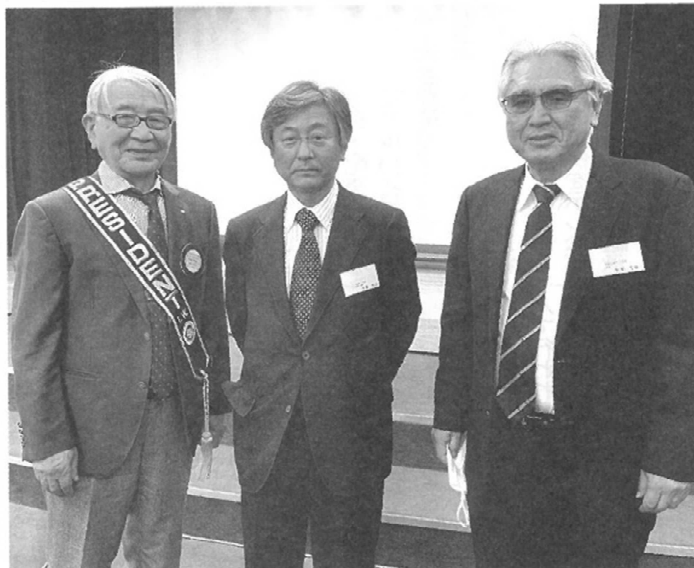
竹島さんは1985年、三菱化成工業(現・三菱ケミカル)に入社、一貫して光磁気ディスク、CD、DVD、BDなど、さまざまな光ディスクの研究開発に従事してきた。光ディスクの国内・国際標準化活動に当たり、2012年からは光ディスクのデータセンター向けアーカイブ事業開拓を進め、同年に台湾のCMCマグネティックス社が三菱ケミカルの子会社となり、サーバ部門を買収すると、バーベイタムジャパンの代表取締役に就任した。

2人とも日本の最先端のデ

ータ記録研究や機器の開発に携わってきた。まず登壇した釘屋さんは、光ディスク分野

の開発は日本ではできないことを強調し、ものづくりの面でまだまだ希望があることを説明し、この分野で先端を走っている竹島さんを紹介した。

卓話を終えて、左から岩国西RCの兼田会長、竹島さん、釘屋さん



卓話を終えて、左から岩国西RCの兼田会長、竹島さん、釘屋さん

バーベイタムは日本、アメリカ、ヨーロッパ、アジアにそれぞれ拠点を置き、全世界をカバーしている。これまでの経歴を振り返り、かつて釘屋さんとMOディスク開発に当たり、共に立ち上げた仲間だったと語った。

消えては困るデータを保管するアーカイブについて、保存すべきデータは膨大なものになってきた。ハードディスクでの保存は限られ、捨てられることもある。しかし、サーバの容量を増やすには莫

大なIT投資が必要になる。さらに、サーバを維持するために大量の電力を要するため、CO2の削減社会にも反する。それを助けるのが光ディスクの活用」とし、日本でデータストレージ産業を興隆させていく意義を説明した。



## コロナ禍のわがクラブは？！②⑤



『仕しよう みんなの人生を豊かにするために』

速いもので兼田康史会長年度も間もなく折り返し地点を迎えます。この半年、コロナ感染も落ち着き、もちろん感染防止のパーテーション、マスク着用は必須でしたが、平常に近い例会を楽しむことができました。現在、新たな変異株が世界に蔓延していますが、わが国に感染が拡大しないことを祈る思いで、今パソコンに向かっていきます。

思い起こせば昨年の初めだったでしょうか。中国武漢で発生した新型コロナウイルスという得体の知れない感染症がわが国にもたらされ、はや2年目を迎えようとしています。飲食は制限され、催しは中止または延期されるなど、個人や団体はコロナに翻弄され続け、重苦しい1年と数か月を過ごしました。ロータリーも例外ではなく、地区大会や各種会合は中止もしくはリモートで開催されるなど、大きな影響がでています。

わがクラブにあっては、松本誠司会長年度の後半だったでしょうか、会合や活動が自粛モードとなり、中塚英吉会長年度ではすべての行事が滞り、いや応なしに大きな変化を生じさせる不完全燃焼の残念で、気の毒な一年であったと思います。

最もロータリーが大切にしている例会も『3密』と敬遠されました。幸いなことにわがクラブは会場に恵まれ、感染防止のあらゆる策をしっかりと整えていただいたお蔭で、教室形式のソーシャルディスタンスを取り入れるなど、防止策を凝らしていただきながら、曲りなりにも例会は開かれました。マスクの着用やパネル越しの会話は少々ギコチなく違和感はありませんでしたが、地区内では休会の少ないクラブであったと思っています。観光ホテルの適切で迅速な配慮と、中塚・松本両会長の悩みながら下された勇気ある決断に感謝しなければなりません。そして、改めてロータリアンの最も大切な価値観である『Face to Face』、何の気兼ねなく顔を合わせ、歓談しながら食事を楽しむ例会が懐かしく感じたのは、私だけではなかったのではないのでしょうか。

このような状況下でのロータリー活動は如何にあるべきでしょうか。当然のこととはいえ、一に自らを含む家族の健康、二に社員の安全を考慮した職業の存続ですが、ロータリアンですから地域社会への奉仕・貢献も忘れてはならないと思います。コロナ禍によりクラブの存在が埋没しないよう『何もしないではなく、出来ることをする』ことを考え、こんな時だからこそ地域社会に役立つことを真摯に検討し、実行しなければならないと思っています。

わがクラブでは感染拡大を予測し、いち早くフェイスシールドやマスクを寄贈しましたし、こんな時こそ落ち着いてできる内部充実として、濱村雅彦さんを中心に長年の懸案であったホームページを立ち上げていただきました。また兼田会長の所信に基づいた『四つのテスト』の熟達も図っています。情報集会では『コロナ禍のロータリーや職業奉仕』をテーマに、一人ひとりが職業における奉仕のあるべき姿を確認し合いました。

外出の機会が制限されている中でしたが、例会の出席率が高いことは意外でした。多くのロータリアンが心の安らぎを例会に求めたのではないのでしょうか。わがクラブ自慢の『友愛の握手』であいさつは出来なくなりましたが、SAA賀陽寛さんのアイディアで『マスクのまま笑顔のあいさつ』は、アイコンタクトのより親しみを増す新しい試みとして定着しています。



三クラブ合同例会風景

クラブリーダーたちが工夫を凝らしながら楽しく居心地のいいクラブを持続させようと、色んな策を講じていることは流石！、と言わざるを得ません。思いやりある温かい雰囲気、『いいクラブ』、『このクラブに入って良かった』と再認識されたメンバーも多かったのではないのでしょうか。わがクラブに誇らしさを感じる昨今です。

コロナ禍がいつ終息するか、今のところ予測できません。しかし、明けない夜、春の来ない冬がないことを信じ、みんなで笑って乾杯するステージを思い浮かべながら、この年の瀬を乗り越え、元気よく新しい年を迎えましょう！ 【西村榮時】